

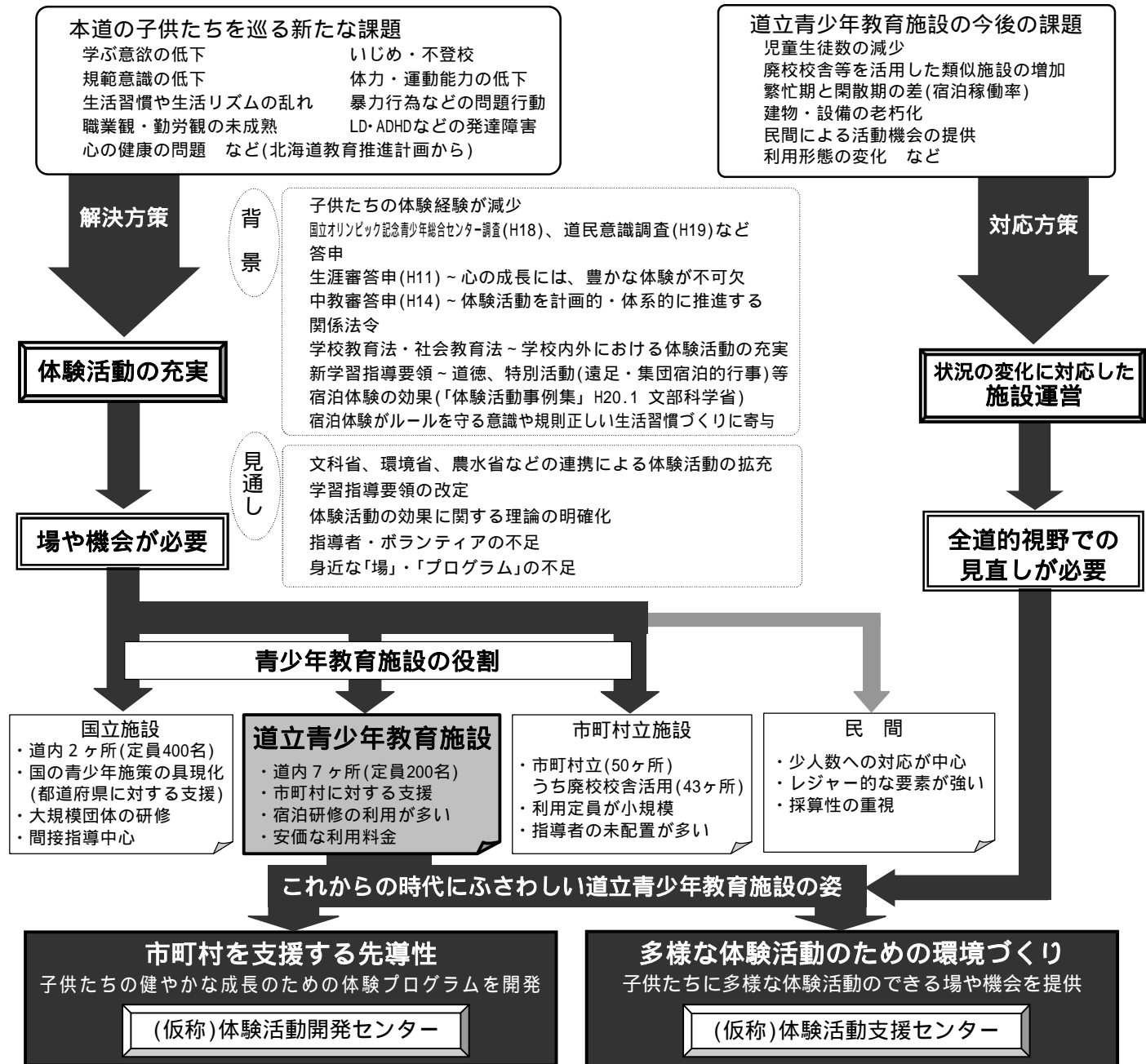
1 道立青少年教育施設の現状とこれまでの実績

施設名(所在地)	設置年	敷地面積(所有)
青年の家(深川市)	S37(H12譲)	66,635㎡(道有地)
洞爺少年自然の家(洞爺湖町)	S48	41,126㎡(道有地)
砂川少年自然の家(砂川市)	S50	10,360㎡(道有地)
常呂少年自然の家(北見市)	S43(H2譲・H3譲)	13,626㎡(北見市)
厚岸少年自然の家(厚岸町)	H5	18,223㎡(厚岸町)
森少年自然の家(森町)	H8	34,484㎡(森町)
足寄少年自然の家(足寄町)	H9	34,000㎡(足寄町)

平成20年度の利用状況(7施設合計・平均)

- 延利用者数: 248,242人
- 実宿泊者数: 107,396人(うち宿泊研修40%)
- 宿泊稼働率: 26.8%
- 主催事業(平成21年度)
- 地域の歴史を学ぶ、環境に対する気づきを深めるなど130事業
- 運営経費(平成20年度フルコスト)
- 631,812千円(うち指定管理者負担金398,616千円)
- 運営体制
- 指定管理者と駐在職員(3~4名)
- 実績
- 自然体験の普及、宿泊研修への支援、ボランティア育成など

2 道立青少年教育施設を取り巻く社会情勢の変化



3 あり方検討の視点

